

法吉小学校だより



法吉っ子

令和7年7月 文責 校長

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆法吉っ子は、鍋磨き名人

5年生は宿泊研修で、三瓶青少年交流の家に行きました。そこでは、カレーライスをつくるのですが、うまさを味わった後には、厳しい片付けが待っています。それは、使った鍋や食器をピカピカに磨き上げることです。ススやぬめりが残っていると、カビが生えますし、次使う人が気持ちよくありません。

ですから、職員の方のOKが出るまで、何回も磨き直す必要があるのです。

子どもたちの様子を見てみると、率先して鍋磨きに取り組み、何度も自分たちでチェックしながら黙々と磨く姿がありました。友達と協力し合って交代しながら磨き続ける姿は微笑ましかったです。

約1時間は片付けに時間を費やしたでしょうか。三瓶の職員さんのチェックでは、鍋を見るや否や「おー、これは使う前より光っているんじゃない!？」という驚きの声。最上級の誉め言葉をいただきました!

成果は、写真のとおりです。今後も法吉小の、よい伝統としていきたいものです。



◆「やってみよう」の夏休みに

子どもたちにとってウキウキの夏休み。興味があったり不思議に思ったりしたことを、少し時間をかけて調べるよい機会にしたいものです。私が小学生の夏にやった研究を紹介します。

家の近くに大工さんの作業場がありました。その大工さんがくぎを打つときにはいつもくぎを数本、口にくわえているのです。「なんか痛そう、まずそう」と思いつつ聞いてみると、「なめて濡らしておくと、くぎがさびて強くなるんだよ」と。これを聞いたとき、本当に驚きました。まさか、さびさせるためだとは。

私は家に帰ってすぐに鉄くぎを探しだし、水につけて実験しました。早いものは5時間ぐらいで赤さびが出てきました。大工さんに実験結果を伝えに行くと、「くぎはさびてくると太くなる。さびのギザギザで木同士がしっかりとひつつくのだ」と教えてくれました。本当に面白いと思いました。

40日近くある夏休みです。研究じゃなくても、お手伝いや料理、自然体験などをすると何か新たな発見があるかもしれません。やってみようの夏休みにして、教科書にはない学びをしてみましょう。

◆比津交番の皆さんが見守ってくださいます

学校の安全のために、比津交番の警察官のみなさまが地域巡回の際に法吉小に立ち寄ってくださっています。定期的に回って来てもらえるので、心強いです。会った時には感謝のあいさつをしましょうね。



ほうきどり

校庭芝生管理、野菜づくり、裁縫ボランティア、ベルマーク集計、読み聞かせ、登下校の見守り、巡回見守り等、今月も保護者、地域の皆様からたくさんのご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。 電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp